



# つなぐ



## 御挨拶

あけましておめでとうございます。

昨年中は地域医療の充実に多大なるお力添えをいただき、関係医療機関の皆様には心より感謝申し上げます。また今年は、当院と気仙沼市立本吉病院との医療機能再編を控えており、昨年にも増してより一層慌ただしい1年となりそうですが、長い目で見れば、これは当地域の医療機能の維持およびさらなる発展のために是非とも必要なことであり、なんとしても軌道に乗せねばならないものと考えます。

さて、内外の情勢に目を向ければ、ここ数年来世間を混乱させ続けている新型コロナウイルス感染症との付き合い方がわかりかけてきたと思ったのも束の間、インフルエンザ等の以前からの感染症が久しぶりに猛威を振るい、また年が明けて早々から大きな自然災害や航空機事故などの痛ましいニュースも飛び込んできています。海外に目を向けても、まだまだ明るい先行きが見通せない状況は続き、不安な気持ちでの1年のスタートとなりましたが、気仙沼市立病院および総合患者支援センターは、この地域の医療を守るべく邁進して参りますので、皆様方におかれましてはより一層のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

気仙沼市立病院 副院長  
総合患者支援センター  
所長 星 達也



## 気仙沼市地域医療連携交流会 開催報告

令和5年11月8日(水)「ゲストハウス気仙沼アーバン」にて、4年ぶりに地域連携を目的とした交流会を開催いたしました。

開業医の先生方をはじめ、福祉や介護福祉サービスの関係者の皆様31団体・86名にご参加頂きました。

第1部では、当センターの活動報告と感染管理認定看護師による講話、第2部の懇親会では職種を超えた交流のひとときを過ごす事が出来ました。

今後も、顔の見える関係づくりに努めてまいります。



## 地域包括ケア住民フォーラムに参加しました



令和5年11月25日(土)に気仙沼プラザホテルにおいて開催された気仙沼地区地域医療委員会主催の「地域包括ケア住民フォーラム～おうちていいよね～」に気仙沼市立病院も参加しました。

「地域包括ケアって何だろう？住み慣れたところで暮らしていくための取組」として、宮城県保健福祉事務所・気仙沼市・南三陸町・気仙沼市立病院・南三陸病院・宮城県ケアマネジャー協会気仙沼支部・気仙沼市歯科医師会・気仙沼市薬剤師会の8団体の講話と福祉用具・栄養補助食品の展示があり、会場には多くの皆さんが参加され、地域包括ケアについて理解を深めました。

気仙沼市立病院では

「回復期リハビリテーション病棟の取組・当院回復期リハビリテーションの特徴」と題して、6階西病棟の主任看護師とリハビリテーション室の主任医療技師（作業療法士）の2人が具体的な事例を示し、患者様・ご家族様が安心して住み慣れたご自宅での生活に戻れるよう多職種が連携してサポートしている様子などを発表しました。

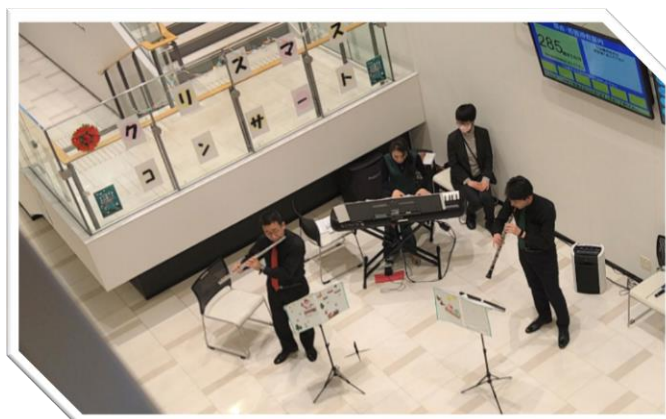


## クリスマスコンサートが開催されました



令和5年12月26日(火)、当院1階うみねこモールを会場に「ちょっと遅れてやってきた♪クリスマスコンサート」(宮城県芸術銀河 2023 音楽アウトリーチ普及事業)が開催されました。

入院や外来の患者様、看護学生など約 100 人が仙台フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者西沢澄博氏らによる本格的な演奏を楽しみました。サプライズでサンタクロースも登場し、温かな気持ちに包まれた時間を過ごすことができました。



オーボエ: 西沢澄博 仙台フィル 首席奏者  
フルート: 芦澤暁男 仙台フィル  
ピアノ: 文京華  
鈴/サンタ: 神成大輝 仙台フィル 副指揮者

★プログラム

エルガー 愛の挨拶 ドビュシー 小舟にて  
ビゼー オペラカルメンより ミカエラのアエラ  
クリスマスメドレー他



## アピランスケアセミナー・がんサロン

### 報告

### アピランスケアセミナーを開催しました ～乳がん治療と医療用補正具の選び方～

令和5年12月6日(水)18:30から当院を会場に最先端の治療や支援策を広め、患者さんの不安や負担軽減を目的に開催しました。当院外科医長 平宇健治先生から「最近のがん治療の考え方～残存乳腺の整容性～」について・株式会社ワコール/リマンマ 由谷恭子様から「術式や術部、創部に合わせた下着・パッドの選び方」についてお話いただきました。併せて、気仙沼市の医療用補正具購入費用助成事業についても紹介しました。当日は約20名に参加いただき最新のがん治療と医療用補正具について理解を深めることができました。

アピランスケア(外見ケア)とは、がんやがん治療の副作用により生じた外見の変化に対するケアのことです。女性特有のがんの罹患率は年々増加しています。がん医療は飛躍的に進歩していますが、治療に伴う脱毛や乳房の喪失といった外見(アピランス)の変化に対する支援も大きく動き出しています。

### ご案内「笑顔になれるメイクアップ教室」を開催します

日時：令和6年2月9日(金) 14時～16時

場所：気仙沼市立病院 1階会議室

対象者：がん治療中または治療後の患者さんでご興味のある方

講師：瀬戸真由美先生(ソシオエスティシャン)

主催：がん相談支援センター・がん患者会“hinami”  
包括的がん医療推進委員会

お問合せ：気仙沼市立病院 0226-22-7100(代表)  
総合患者支援センター(内線5229)



※ソシオエスティックとは、人道的・福祉的観点から精神的・肉体的・社会的な困難を抱えている人に対し、医療や福祉の知識に基づいて行う総合的なエスティックです。エスティックの施術によって人を癒し、励まし、QOL(生活の質)の向上に寄与し、その人が本来の自分を取り戻すために支援することを目的としています。

(引用：一般社団法人日本エスティック協会ホームページより)

### がんサロン hinami(ひなみ)のご紹介

がんサロン hinami は、「hi…ひとりで、na… 悩まず、mi…みんなで笑顔に」の頭文字から名付けられたサロンで患者さん同士が自由に情報交換や語り合いのできる場です。

◇日時：毎月第2金曜日 午後2時～4時

◇場所：気仙沼市立病院 がんサロン室

◇対象：婦人科系がん、乳がんの患者さん及びご家族の方  
(当院に通院している方、または、通院したことがある方)



悩みごとや心配ごと、情報交換など、気軽に話してみませんか？

途中からの参加や退出も可能です。

問合せ先：気仙沼市立病院 総合患者支援センター ☎22-7100(代表)

## 入院中のお食事 ～季節に合わせた「行事食」を提供しています～

2024年1月1日提供

### お祝い膳



元旦には、おせち料理を提供しました。新年を病院で過ごされる患者様にも、お正月気分を感じていただけるように心を込めて作っております。

朝



- ・紅白かまぼこ ・わさび和え
- ・祝肴  
(伊達巻・野菜巻・なます・黒豆)
- ・みそ汁 ・牛乳

昼



- ・ねぎとろ丼 ・引き菜汁
- ・祝肴  
(数の子・昆布巻・赤蕪・芋キント)
- ・梅ゼリー

夕



- ・松風焼き ・茄子の田楽
- ・みそ汁 ・果物



## お願い

### 患者さんの紹介・診療予約について

- ・当院では、受診いただく際に、医療機関を通じ、事前に予約していただくことをお願いしております。
- ・「診療予約申込書」と「患者診療情報提供書」や検査データ(必要時)を添えて、当センターまでFAXでお申込みください。
- ・「診療予約申込書」は令和4年7月改訂・最新版をご使用願います。ホームページ「総合患者支援センター」からダウンロード可能です。
- ・患者さんの待ち時間短縮のためご協力お願いいたします。



気仙沼市立病院

〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8番地2

総合患者支援センター TEL:0226-22-7100(代表) / FAX:0226-24-2328

○診療予約・紹介部門

(直通)TEL:0226-22-7178

○入退院支援部門

(直通)TEL:0226-22-8661